

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 24 日

事務事業名		農業集落排水施設使用料徴収事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040703000128
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	070101
政策体系	総合計画の施策名	0407		下水道の整備		主要事業		下水道課	
	政策名	04		快適で潤いのある生活環境づくり		市長マニフェスト			
	施策名	07		下水道の整備		未来PJ事業		グループ	
	基本事業名	03		下水道事業の安定した経営		合併建設計画事業		業務G	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	農業集落排水事業特別会計		
	04	01	01	01	02	00	農業集落排水施設管理事業		
法令根拠						単年度繰返し (平成18年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>【事務事業の内容】</p> <p>桜川市農業集落排水施設使用料条例に基づく使用料で、基本料金と人数割で計算して賦課する。事務の効率化を図るために水道課に水道料と使用料を合わせて口座振替作業、納付書をシステムの統一化をして送付している。</p> <p>【事業費の内訳】</p> <p>使用料徴収業務委託料 948,200円 郵便料 160,247円 電算機器保守点検委託料 154,740円 電算機器賃借料 278,904円 公課費 11,744,600円</p>	<p>【担当者が行う業務の手順】</p> <p>当該年度の使用料額のお知らせ及び減免申請の通知 減免申請の手続き 新規の方は、使用料徴収システムに、データの入力 納付書及び口座引落は、水道課に依頼 年6回の使用料徴収、収納及び督促状の発送</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<p>【担当者が行う業務の手順】</p> <p>当該年度の使用料額のお知らせ及び減免申請の通知 減免申請の手続き</p>	調定件数	件	1,750.00	1,800.00	1,850.00	1,900.00	1,950.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
農業集落排水使用者	使用世帯	世帯	1,750.00	1,800.00	1,850.00	1,900.00	1,950.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
使用料をきちんと納めてもらう	収入金額	千円	94,802.00	95,000.00	96,000.00	97,000.00	98,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	内訳	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
量	費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	7,489	13,288	14,616	5,000	5,000	0
		その他	千円	0	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	6,050	6,050	0
	事業費計(A)	千円	7,489	13,288	14,616	11,050	11,050	0	
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人		
	述べ業務時間	時間	975.00	975.00	975.00	975.00	975.00		
	人件費計(B)	千円	2,828	2,828	2,828	2,828	2,884		
トータルコスト(A)+(B)			千円	10,317	16,116	17,444	13,878	13,934	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)			29年度事業費 予算 (千円)		
	科目	金額		科目	金額	
	12 役務費	161		12 役務費	201	
	13 委託料	1,103		13 委託料	1,136	
	14 使用料及び賃借料	279		14 使用料及び賃借料	279	
	27 公課費	11,745		27 公課費	13,000	
	合計	13,288		合計	14,616	

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 			

事務事業名	農業集落排水施設使用料徴収事業	事務事業No.	40703000128	所属課	下水道課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 農業集落排水事業8施設、供用開始に伴い使用料を徴収している。使用料は接続状況により増加している。		
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 供用開始後、旧町村単位で使用料は口座振替や納付書を送付し納入していましたが、現在水道事業に徴収委託をして口座振替を統一した。		
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">改革改善を行う</td> <td>接続率の向上については、接続件数は着実に増加しているが、接続率を一気にあげることは困難な状況にある。</td> </tr> </table>	改革改善を行う	接続率の向上については、接続件数は着実に増加しているが、接続率を一気にあげることは困難な状況にある。
改革改善を行う	接続率の向上については、接続件数は着実に増加しているが、接続率を一気にあげることは困難な状況にある。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 施設使用者の使用料に対する事務であり財源確保により安定した事業の運営をする。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 事業主体は市であり公共の福祉に関する事項で使用者の使用料に対する事務である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 収入率向上に向けた対策を行い、滞納者の減少を図る必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事業の廃止は、ライフラインの維持を図るため不可能である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に手段がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 地区は限定されており、新規事業はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 条例に基づき使用者から負担金を徴収しているので、公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ⇨	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 下水道使用料については、年々収入が増加しているが、まだまだ接続率が低い状況にあるため今後とも啓発活動を実施して独立を向上させて経営の安定化を図る。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 接続率の向上については、接続件数は着実に増加しているが、接続率を一気にあげることは困難な状況にある。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---